

# ぐんまの砂防



(みなかみ町の土合砂防堰堤)

## INDEX

- 会長あいさつ、事業内容、役員名簿 …… 1
- 群馬県治水砂防協会の活動 …… 2
- 砂防施設の整備状況 …… 4
- 土砂災害ハード・長寿命化対策の紹介 …… 5
- 土砂災害ソフト対策の推進 …… 7
- 土砂災害防止に関する絵画・作文コンクール開催 ……10
- あとがき ……11



会員の皆様におかれましては、日頃より、当協会の運営につきまして格別な御理解と御協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染拡大の影響は、令和4年に入っても収束が見られませんでした。当協会の活動は、感染対策に最大限の配慮をしつつ、総会の対面開催を3年振りに行うなど、少しずつ再開しています。

さて、全国では、毎年多くの土砂災害が発生しており、令和4年においても788件の土砂災害が発生し、死者2名、負傷者6名、人家284戸という被害が生じています。

これらの頻発する土砂災害にしっかりと対応するために、群馬県では、「新・群馬県総合計画」における「災害レジリエンスNo1の実現」を達成するため、県土整備分野の最上位計画である「ぐんま・県土整備プラン2020」や、砂防分野の個別計画「土砂災害対策推進計画2021」を策定し、防災インフラの整備や土砂災害における「逃げ遅れゼロ」に向けた避難行動の推進等のハード・ソフトが一体となった土砂災害対策を推進しています。

土砂災害から県民の生命や財産を守るため、防災・減災対策が広く求められている中で、当協会といたしましては、治水砂防事業の一層の推進が図られるよう、これからも国や県に対して、砂防関係事業予算の確保を強く要望し、「災害に強い県土づくり」に寄与してまいりますので、今後とも、格別の御指導、御協力を賜りますようお願いいたします。

群馬県治水砂防協会会長 安中市長 岩井 均

●令和4年度の主な事業内容

年 月 日	場所	主催	活動内容
5月26日	砂防会館(東京)	全治水	全国治水砂防協会通常総会
5月24日	県議会議室	群治水	群馬県治水砂防協会会計監査・役員会
6月1~30日	県内各地	国土交通省	土砂災害防止月間
7月21日	県商工連会館	群治水	群馬県治水砂防協会役員会及び通常総会
8月2日	砂防会館(東京)	全治水	第9回土砂災害対策実務者講習会
10月29日	県庁ビジターセンター	群治水	土砂災害に関する絵画・作文コンクール表彰式
11月1~2日	山梨県甲府市	全治水関東甲地区協議会	関東甲地区協議会通常総会・支部長会議
11月15日	砂防会館(東京) 議員会館(東京)	全治水 群治水	全国治水砂防促進大会 県選出国会議員への要望活動
11月15日	国土交通省(東京)	群治水	国土交通大臣政務官及び砂防部長への要望活動
2月17日	砂防会館(東京)	全治水	第63回砂防および地すべり防止講習会
3月		群治水	「ぐんまの砂防」Vol.20発行

※全治水=(一社)全国治水砂防協会、群治水=群馬県治水砂防協会

●令和4年度 群馬県治水砂防協会役員名簿

役職名	現職名	氏名
会 長	安中市長	岩井 均
副 会 長	県議会議員	星名建市
副 会 長	桐生市長	荒木恵司
副 会 長	甘楽町長	茂原 荘一
監 事	県議会議員	岸 善一郎
監 事	嬭恋村長	熊川 栄
委 員	前橋市長	山本 龍
委 員	高崎市長	富岡 賢治
委 員	沼田市長	星野 稔
委 員	渋川市長	高木 勉
委 員	藤岡市長	新井 雅博
委 員	富岡市長	榎本 義法
委 員	みどり市長	須藤 昭男
委 員	神流町長	田村 利男
委 員	東吾妻町長	中澤 恒喜
委 員	川場村長	外山 京太郎

(令和5年3月現在)

# 群馬県治水砂防協会の活動



## 全国治水砂防協会「第86回通常総会」への出席

令和4年5月26日に東京都千代田区の砂防会館別館シェーンバッハ・サボーにおいて、全国治水砂防協会第86回通常総会が開催されました。全国から会員等約900名が出席し、本県からは、熊川監事をはじめ会員町村長等7名が出席しました。

総会始めに、今年の3月に新たに就任された森山裕会長から挨拶が行われた後、加藤鮎子国土交通大臣政務官からご祝辞をいただきました。

議事では、令和3年度事業報告及び収支決算審議並びに公益目的支出計画実施報告、令和4年度事業計画報告及び収支予算報告、役員選任審議が行われ、審議案件は原案どおり全会一致で承認されました。

続いて、国土交通省の三上砂防部長から「『いのち』と『くらし』を守る砂防」と題した講演が行われました。



【会場の様子】



【森山会長】



## 群馬県治水砂防協会通常総会の開催

令和4年7月21日に群馬県商工連会館において、令和4年度通常総会が会員市町村長等25名の出席のもと開催されました。津久井副知事、星名群馬県議会議長にご臨席を賜り、ご祝辞をいただきました。

総会では、令和3年度事業報告・収支決算報告、令和4年度事業計画案・収支予算案等が原案どおり可決・承認されました。



【会場の様子】



【岩井会長】



## 全国治水砂防協会関東甲地区協議会通常総会への出席

令和4年11月1日～2日に山梨県甲府市の古名屋ホテルにおいて、令和4年度全国治水砂防協会関東甲地区協議会（会長：岩井安中市長）通常総会が開催され、岩井会長等5名が出席しました。総会では、令和3年度事業報告・収支決算報告、令和4年度事業計画案・収支予算案が原案どおり可決・承認されました。

総会後に開催された会長（支部長）会議では、国土交通省砂防部の城ヶ崎保全課長から「『いのち』と『くらし』を守る砂防」と題し、また、（一社）全国治水砂防協会の岡本副会長から「砂防協会と砂防会館」と題し、講演が行われました。



【会場の様子】



【左から、城ヶ崎課長、岩井会長、岡本副会長】



## 「全国治水砂防促進大会」への参加及び要望活動の実施

令和4年11月15日に砂防会館別館シェーンバッハ・サボアにおいて、「全国治水砂防促進大会」が開催されました。全国から会員等約1,300名が出席し、本県からは岩井会長をはじめ市町村長等15名が参加しました。

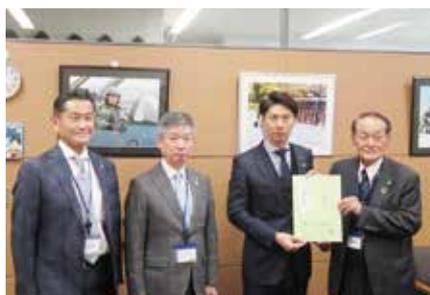
促進大会では、三上砂防部長から「『いのち』と『暮らし』を守る砂防」と題し講演が行われ、その後、新原広島県呉市長から「災害に屈しないまち『くれ』の実現に向けて」と題して意見発表が行われました。最後に、大会提言が満場一致で採択されました。

大会終了後、町村長等が県選出国會議員へ要望活動を行いました。

また、岩井会長が全国治水砂防協会による内閣人事局への要望活動に代表要望団の一員として参加しました。



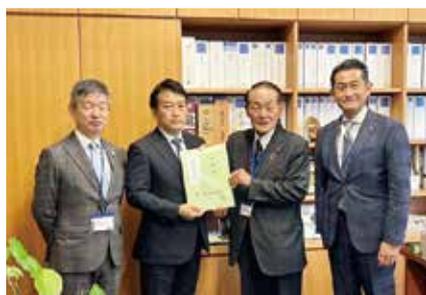
【会場の様子】



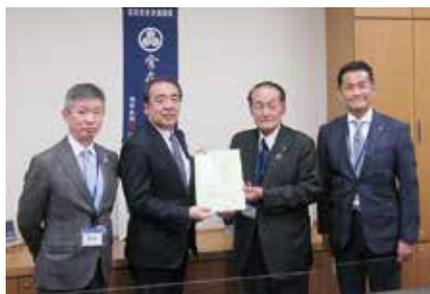
【中曽根衆議院議員】



【井野衆議院議員】



【笹川衆議院議員】



【福重衆議院議員】



【羽生田参議院議員】



## 国土交通大臣政務官及び砂防部長への要望活動の実施

令和4年11月15日に国土交通省において、岩井会長及び熊川監事が清水国土交通大臣政務官及び三上砂防部長へ要望活動を行いました。



【清水大臣政務官】



【三上砂防部長】

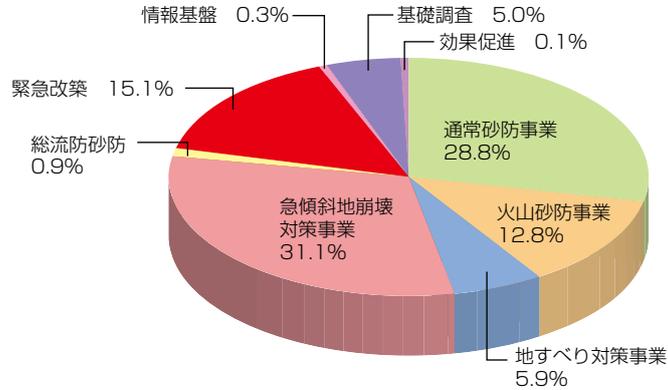
# 砂防施設の整備状況

令和4年度 砂防関係公共事業予算総額 5,633百万円(2月補正後)

単位：百万円

砂防関係公共事業予算内訳	
事業名	予算額
単独砂防施設	336
単独砂防維持管理	630
緊急防災・減災対策	537
補助事業及び社会資本総合整備事業	4,130
計	5,633

## 補助事業及び社会資本総合整備事業の内訳



## 過去5年の砂防事業費の推移



※各年度最終現年度予算額、R4は2月補正後の金額

## 砂防指定地等の指定・着手状況(令和5年1月31日現在)

### 1. 砂防指定地

区分	指定渓流数	指定箇所数	指定面積(ha)
県	951	1,906	3,826.4
直轄	147	410	2,509.4
計	1,098	2,316	6,335.8

### 4. 土砂災害警戒区域(急傾斜地の崩壊)

警戒区域箇所数A	区域指定		完成	
	区域数B	率B/A	区域数C	率C/A
5,869	672	11.4%	609	10.4%

### 2. 土砂災害警戒区域(土石流)

警戒区域箇所数A	指定地		完成	
	箇所数B	率B/A	箇所数C	率C/A
2,862	721	25.2%	558	19.5%

### 5. 雪崩危険箇所

危険箇所A	完成	
	箇所数B	率B/A
450	6	1.3%

### 3. 土砂災害警戒区域(地すべり)

警戒区域箇所数A	区域指定		完成	
	箇所数B	率B/A	箇所数C	率C/A
344	69	20.1%	62	18.0%

# 土砂災害ハード・長寿命化対策の紹介

## 土砂災害対策推進計画2021 ～災害レジリエンスNo.1の実現に向けた土砂災害対策の更なる加速～

### 土砂災害対策推進計画とは

土石流やがけ崩れなどの土砂災害から県民の生命と財産を守るため、ハザードマップや避難計画の作成などの警戒避難体制構築の支援(ソフト対策)と砂防えん堤やがけ崩れ防止施設などの施設整備(ハード対策)を「どのような考え方で、どのように進めていくか」を示す県土整備分野の個別基本計画です。

**ハード対策**

**方針** 土砂災害リスクを軽減させる防災インフラ整備

**取組1** 自力避難が困難な要配慮者の安全確保

**効果** 令和6年度までに要配慮者利用施設45施設の土砂災害リスクを軽減

**取組2** 異常気象時の安全な避難場所の確保

**効果** 令和6年度までに地域防災計画上の避難所64施設の土砂災害リスクを軽減

**取組3** 著しい被害が生じるおそれのある区域の安全確保

**効果** 令和11年度までにレッドゾーン内の人家約600戸の土砂災害リスクを軽減

**取組4** 多くの人家に被害が生じるおそれのある区域の安全確保

**効果** 令和11年度までにイエローゾーン内の人家約3000戸の土砂災害リスクを軽減

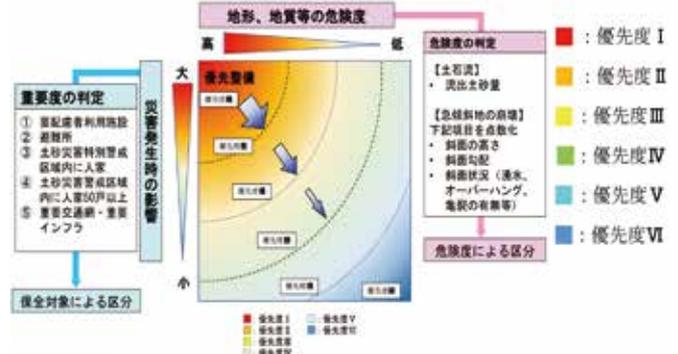
**取組5** 重要交通網の寸断防止

**効果** 防災拠点集積エリア同士を結ぶ交通網の土砂災害による寸断リスクを軽減

**計画期間** 令和3年度～令和11年度の9年間

### ハード対策箇所の選定

#### 一次選定のイメージ



#### 評価結果

R11までの対策予定箇所 146箇所 (箇所)

土石流対策+がけ崩れ対策		危険度による区分			合計	
		a	b	C		
保全対象による区分	要配慮者利用施設・避難所	A	Aa(5)	Ab(42)	Ac(28)	75
	特別警戒区域内人家10戸以上	B	Ba(4)	Bb(4)	Bc(5)	13
	特別警戒区域内人家5戸以上	C	Ca(11)	Cb(18)	Cc(14)	43
	警戒区域内人家50戸以上	D	Da(1)	Db(14)	Dc(0)	15
	重要交通網・重要インフラ	E	Ea(10)	Eb(143)	Ec(41)	194
合計			31	221	88	340

## 群馬県砂防関係施設長寿命化計画2022

### 砂防関係施設長寿命化計画とは

土砂災害から県民の命と財産を守るため、既存の砂防関係施設の必要な機能を長期にわたって安全に使用し続けることを目的に、維持管理・更新に要するトータルコストの縮減と予算の平準化を図るよう定めた県土整備分野の個別実施計画です。

施設現状 令和4年3月

砂防関係施設	施設数	健全度A	健全度B	健全度C
砂防設備	2,883	1,075	1,681	130
急傾斜地崩壊防止施設	639	255	350	34
地すべり防止施設	68	19	13	36
雪崩防止施設	6	2	3	1
合計	3,596	1,351	2,047	201

健全度A：対策不要 健全度B：経過観察 健全度C：要対策

#### 課題1 施設の老朽化

健全度の低下や新たな被災により、健全度C(要対策)は残されている。

#### 課題2 進む担い手不足

就業者数の減少により技術者の確保困難と人件費の増大より、業界への負担と財政の圧迫が増大している。

#### 課題3 膨大で複雑なデータベース

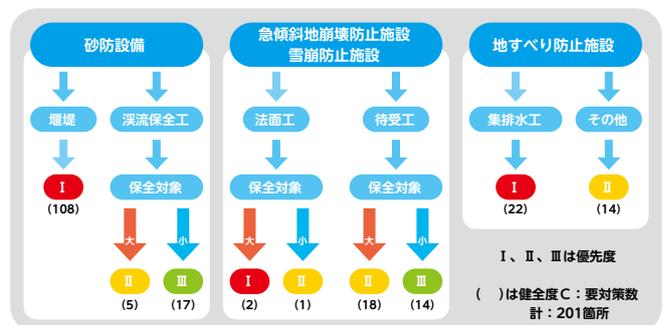
工事後、点検後、対策後のデータなどの既存のデータベースが複雑で活用しにくい。

**計画期間** 令和4年度～令和53年度の50年間

**維持管理計画** 令和4年度～令和11年度の8年間

#### 対策1 計画的な長寿命化対策の推進

維持管理・更新に要するトータルコストの縮減と予算の平準化及び優先順位の見直しにより効率的に対策を行う。



#### 対策2 持続可能な点検計画による生産性向上

点検頻度の見直し・適正化や新技術(ドローン等)の導入により、点検作業の生産性を向上させる。

#### 対策3 管理データの一元化

データの確実な蓄積や管理方法のルール化により、データ精度を向上させる。また、県土整備部として一元管理することでデータの利便性を向上させる。

火山砂防事業 『<sup>いどがみさわしんたのさわ</sup>井土上沢(新田之沢)』(利根郡みなかみ町上牧地先) **R4完成**

全体事業費：139百万円

保全対象：人家51戸、避難所、要配慮者利用施設、県道、JR上越線等

事業概要：砂防えん堤工(透過型) H=8.5m L=34.0m



着工前



完成

急傾斜地崩壊対策事業 『<sup>やまざきまち</sup>山崎町1地区』(藤岡市藤岡地先) **R4完成**

全体事業費：70百万円

保全対象：人家1戸、要配慮者利用施設

事業概要：吹付法枠工 A=764m<sup>2</sup>



着工前



完成

砂防設備等緊急改築事業 『<sup>しらさわがわ</sup>白沢川』(沼田市白沢町尾合地先) **R4完成**

全体事業費：386百万円

事業概要：砂防えん堤改築工 H=5.0m L=75.0m

施設概要：昭和12年設置 石積えん堤



着工前



完成

# 土砂災害ソフト対策の推進

## ① 土砂災害警戒区域等の指定

「土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律(通称 土砂災害防止法)」は、土砂災害から住民の生命・身体を守ることを目的に、土砂災害が発生するおそれがある区域を明らかにし、警戒避難体制の整備や一定の行為の制限を行うもので、平成12年度に制定されました。

### ◆ これらの場所が指定の対象になります

#### がけ崩れ



雨や雪融け水、地震などの影響によって、急激に斜面が崩れ落ちる現象

#### 土石流



山や川の石や土砂が大雨などにより水と一緒に激しく流れ下る現象

#### 地すべり



雨や雪融け水が地下にしみこみ、断続的に斜面が滑り出す現象

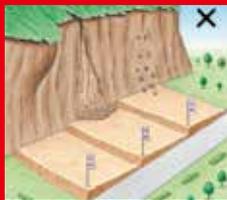
## 土砂災害警戒区域(住民の生命・身体に危害が生じる恐れがある区域)では



災害情報の伝達や避難が早くできるように、市町村によって警戒避難体制の整備が図られます。

### さらに土砂災害特別警戒区域では

(建物が破壊され、住民の生命・身体に著しい危害が生じるおそれがある区域)



住宅地分譲などのための開発行為は、基準に従ったものに限って許可されます。



想定される土砂災害の衝撃に対して、建築物の構造が安全であるか建築確認がされます。



著しい損壊が生じるおそれがある建築物に対して移動勧告がされる可能性があります。

- ・平成26年10月14日 群馬県の初回指定が完了しました。
- ・令和4年3月1日時点、群馬県内で、土砂災害警戒区域9,069区域(うち特別警戒区域8,080区域)を指定しています。
- ・令和3年度から高精度な地形図を用いた砂防基礎調査を実施し、地形の改変・施設整備等による区域の見直し中です。

### ◆ 土砂災害警戒区域等をインターネットで確認することができます

群馬県が提供する統合型地理情報システム「マッピングぐんま」にて、土砂災害警戒区域等の区域を地図上で確認することができます。

マッピングぐんまで検索

マッピングぐんま

検索

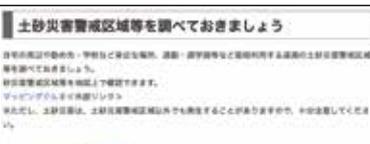
「マッピングぐんま」トップページ



表示された土砂災害警戒区域



土砂災害から身を守るために「日頃からの備え」や、「避難時の注意点」などを県HPへ掲載しました。



#### がけ崩れ発生の前兆現象(一例)

- ・斜面に亀裂ができる!
- ・斜面や崖壁から土砂が落ち出す!
- ・斜面から異様な音、地鳴りが聞こえる!
- ・雪が溜まっている溝きみが凍ってまた、氷の塊まがしがる!



## ② 「住民主体の土砂災害警戒避難体制構築」の推進

### ◆ 「住民主体の土砂災害警戒避難体制構築」の取組とは

土砂災害による犠牲者を無くすためには、施設整備などのハード対策と併せて警戒避難体制の整備などを行うソフト対策が重要です。群馬県ではこうした取り組みの一環として、「住民主体の土砂災害警戒避難体制構築の取組」を実施する市町村や自治会の支援をしています。この取組は、住民懇談会を開催し、その地域独自の自主避難ルールを作成し、作成した自主避難ルールに基づき避難訓練を行います。



地図を囲み、地域の人だけが知っている予兆現象等の情報などから、住民自ら自主避難ルールを策定していきます。



数回の住民懇談会を行い、地域独自の防災マップを完成させます。



完成した防災マップを用いて、実際に避難訓練を行い、連絡体制の確認などを行います。

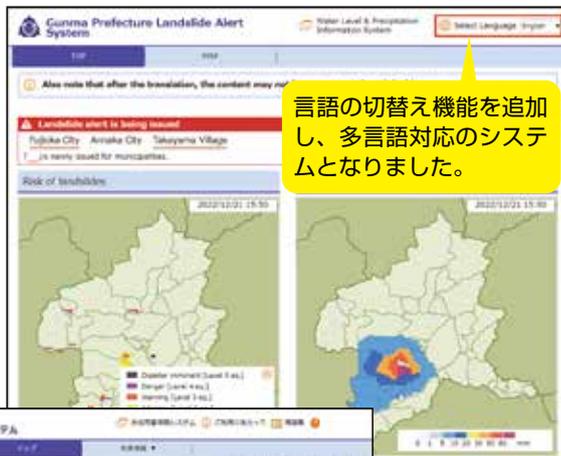
## ③ 群馬県土砂災害警戒情報危険度情報ホームページによる啓発

群馬県内の土砂災害警戒情報発表状況や、1 kmメッシュでの土砂災害発生の危険度をパソコンとスマートフォンから確認できます。

- ◆ パソコン [https://www.dosya-gunma.jp/web\\_pub/](https://www.dosya-gunma.jp/web_pub/)
- ◆ スマートフォン <https://www.dosya-gunma.jp/sp/>

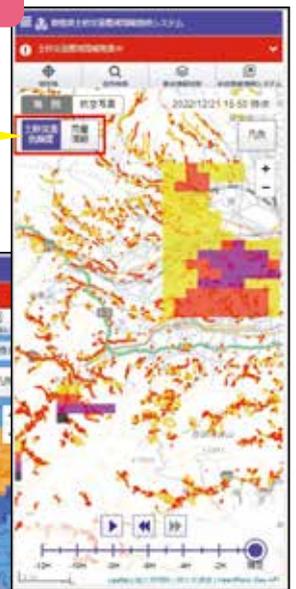


パソコン



言語の切替え機能を追加し、多言語対応のシステムとなりました。

スマートフォン



「土砂災害危険度」と「雨量情報」を切り替えて見ることができます。



- ・大雨特別警報の基準値への到達を示す、警戒レベル5相当の「災害切迫」を新設しました。
- ・濃い紫と薄い紫を統合し、警戒レベル4相当「危険」へ一本化しました。

## ④ ここ何色なん!? 「ぐんま大雨時デジタル避難訓練」の配信について

### ◆ 「ぐんま大雨時デジタル避難訓練」とは

土砂災害・洪水等の自然災害から命を守るためには、「自らの命は自らが守る」という防災意識が必要です。しかし、コロナ禍や日々の忙しさで、これまでの実働型の避難訓練が困難となり防災意識の低下が懸念されました。

そこで、群馬県では防災意識向上を目的に、県公式LINEアカウント「群馬県デジタル窓口」を活用し、スマートフォン上で、大雨時の避難に関する一連の行動を確認するコンテンツとして「ぐんま大雨時デジタル避難訓練」を6月1日から配信しました。また、訓練参加者からの御意見を参考に改良し、9月1日から「ぐんま大雨時デジタル避難訓練(台風編)」として配信することで、継続的な防災意識の向上が図られるよう取り組んでいます。

### ◆ 令和4年度の実績

※広報に使用したPRバナー



利用媒体	: 県公式LINEアカウント「群馬県デジタル窓口」
配信開始	: 2022年6月1日~(いつでも訓練可能)
参加状況	: 県内全35市町村で参加者を確認
アンケート結果	: 自宅や地域の危険性が確認出来た <b>99%</b> (2022.6.1~30): 防災の意識が高まった <b>93%</b>
参加回数累計	: 15万回以上(12月末時点)
防災クイズ	: 全4種類(デジひな防災・子育て防災・ペット防災・マニア防災)

#### 【参加者の声】

- ・日頃から確認しようとは思っていても、なかなか確認できずにいたので、今回のような機会を確認できて非常によかった。(高崎市20代)
- ・絶対大丈夫だと過信していた分、自分の住んでる地域に色がついてたのに驚きと知って良かったという気持ちが大きいです。子供たちにも自分が得た知識を会話する中で教えていけたら良いと思います。(太田市30代)
- ・新しい試み、こうやってどんどんデジタル化に馴染んで行くのですね。(前橋市60代)

### ◆ 実際に自分のスマホでやってみよう。好きな場所で、好きな時に訓練開始!【訓練時間:約5分】



令和5年度も引き続き配信し、土砂災害防止月間となる6月には通知にてお知らせする予定です。

# 土砂災害防止に関する絵画・作文コンクール開催

国土交通省と各都道府県では、毎年6月を「土砂災害防止月間」と定め、土砂災害に対する住民の理解と関心を深めるために、小中学生の皆様から「土砂災害防止に関する絵画・作文」を募集しています。

令和4年度は、群馬県で絵画102点、作文70点の応募があり、下の表の10作品が入賞し、最優秀賞及び優秀賞の作品の一部を国土交通省中央審査委員会へ推薦しました。

全国では、絵画2,884点、作文1,110点の合計3,994点の応募があり、群馬県から小学生絵画の部で1点及び中学生作文の部で1点の合計2点の作品が国土交通事務次官賞を受賞しました。

ご応募いただいたことに感謝しますとともに、受賞された皆様にお喜びを申し上げます。

## 受賞者一覧(敬称略)

### 絵画の部

小学生	最優秀賞	新井 陽葵	高崎市立中室田小学校	5年
	優秀賞	大前みなみ	高崎市立中室田小学校	5年
中学生	最優秀賞	長田 芽依	前橋市立第六中学校	2年
	優秀賞	石川 詩	前橋市立鎌倉中学校	2年
	優秀賞	長山 英太	高崎市立片岡中学校	1年
	奨励賞	横山隼之介	高崎市立片岡中学校	2年

### 作文の部

中学生	最優秀賞	羽鳥 恵太	伊勢崎市立宮郷中学校	3年
	優秀賞	諸田 大和	渋川市立渋川北中学校	1年
	優秀賞	松野 琉晟	渋川市立渋川北中学校	1年
	奨励賞	生方 莉瑚	渋川市立渋川北中学校	1年

○最優秀賞（群馬県知事賞）

○優秀賞（群馬県治水砂防協会会長賞）

○奨励賞（砂防課長賞）

### 国土交通事務次官賞

絵画の部	新井 陽葵	高崎市立中室田小学校	5年
作文の部	羽鳥 恵太	伊勢崎市立宮郷中学校	3年

※各受賞作品につきましては、群馬県ホームページの砂防課のページに掲載していますので、是非ご覧ください。

<https://www.pref.gunma.jp/page/175252.html>



## 絵画部門

### 最優秀賞(群馬県知事賞) 受賞作品



高崎市立中室田小学校 5年  
新井 陽葵 さん

### 最優秀賞(群馬県知事賞) 受賞作品



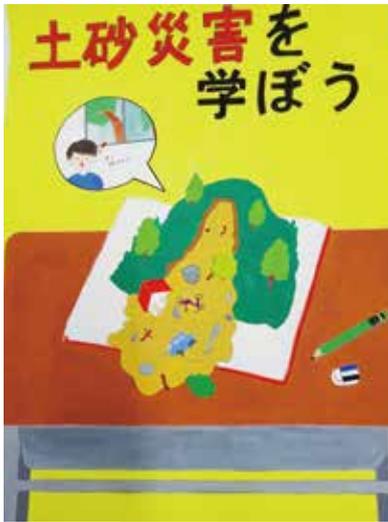
前橋市立第六中学校 2年  
長田 芽依 さん

### 優秀賞(群馬県治水砂防協会会長賞) 受賞作品



高崎市立中室田小学校 5年  
大前 みなみ さん

優秀賞(群馬県治水砂防協会会長賞)  
受賞作品



前橋市立鎌倉中学校 2年  
石川 詩 さん

優秀賞(群馬県治水砂防協会会長賞)  
受賞作品



高崎市立片岡中学校 1年  
長山 英太 さん

奨励賞(群馬県砂防課長賞)  
受賞作品



高崎市立片岡中学校 2年  
横山 隼之介 さん

## あとがき

近年頻発する土砂災害にしっかりと対応するためには、ハード・ソフトが一体となった防災・減災対策をこれまで以上に加速させる必要があります。

砂防課では、「土砂災害対策推進計画2021」を令和3年3月に策定し、土砂災害防止施設の整備を重点的かつ計画的に実施するとともに、『土砂災害からの逃げ遅れによる死者をゼロにする』目標を掲げています。

特に、令和4年度から公式LINEアカウント「群馬県デジタル窓口」を活用し、スマートフォン上で行う「ぐんま大雨時デジタル避難訓練」を実施しており、この取組は、都道府県が運営する公式LINEアカウントを活用した全国初の試みであり、6月1日から配信を開始したところ、訓練参加回数が15万回を超えるなど、反響をいただいております。

土砂災害から犠牲者を無くすには、「行政側の知らせる努力と住民側の知る努力が不可欠」と言われています。気象災害が激甚化・頻発化している中、県民の生命・財産を守るため、引き続き市町村をはじめ関係機関と連携し、様々な土砂災害対策に取り組んでまいりますので、皆様のより一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

令和5年3月

群馬県県土整備部砂防課長(群馬県治水砂防協会常任幹事) 石坂 聡

編集・発行 ■ 群馬県治水砂防協会(群馬県庁砂防課内)

〒371-8570 群馬県前橋市大手町一丁目1番1号

TEL 027-226-3631